

整備施設について

(仮称)草津市立プールは、平成36年に開催される国民体育大会および全国障害者スポーツ大会の水泳競技会場としての活用を想定するとともに、大会開催後も、市民をはじめ県民のスポーツ振興や健康づくりに資する施設として整備の検討を行う。

1 施設の概要

(仮称)草津市立プール整備基本計画策定方針(平成30年1月)における施設の概要は以下のとおり。

6 施設の概要

- (2) 主な施設 屋内温水プール(50m・25m飛込プール兼用、可動床)
観客席 2,500席程度(仮設含む)

2 国民体育大会の先催地の事例について

整備の検討にあたり参考とするため、国体先催地の施設のうち、屋内にメインプールおよび飛込プールが整備されており、比較的近年に建設された2つの事例を整理した。

今後、本市の整備予定地における土地利用の制約や財政支出の観点等を踏まえて、施設の検討を行う。

◆事例1：金沢プール(平成30年国体競技会場)

【供用開始】平成29年4月～

【主な施設】屋内50mプール(50m×25m、水深0m～2m 可動床)

(長水路公認10レーン、短水路公認10レーン、水球対応)

屋内飛込プール(25m×20m、水深3.5m～5m 固定床)

(飛込公認、アーティスティックスイミング対応)

屋内25mプール(25m×17m、水深1.1m～1.3m)

【観客席】固定席2,500席(仮設400席含む)

◆事例2：ダイエープロビスフェニックスプール(県立長岡総合プール)(平成21年国体競技会場)

【供用開始】平成20年8月～

【主な施設】屋内50mプール(50m×25m、水深0m～3m 可動床)

(長水路公認10レーン、短水路公認10レーン×2、アーティスティックスイミング・水球対応)

屋内飛込プール(25m×20m、水深0m～5m 可動床)

(飛込公認、アーティスティックスイミング・水球対応)

屋内25mプール(25m×20m、水深0m～1.4m 可動床)

【観客席】固定席3,032席、(常設木デッキ1,000席含む)

◆参考：栃木県総合スポーツゾーン（新屋内水泳場）（平成34年国体競技会場）

（予定）

【供用開始】平成33年4月～

【主な施設】屋内50mプール（50m×26m、水深0m～2m 可動床）

（長水路公認10レーン、短水路公認10レーン×2、アーティスティックスイミング・水球対応）

屋内25mプール（飛込兼用）（25m×25m、水深0m～5m 可動床）

（短水路公認8レーン、飛込公認、アーティスティックスイミング対応）

【観客席】固定席2,000席以上